

# 広島市植物公園 見どころ案内

## センニンソウ (キンポウゲ科)

日本各地に自生するつる性植物。白いガク片を4枚つけています。花弁ではありません。この名は果実の白い毛を仙人に見立てたものです。

## オミナエシ (オミナエシ科)

黄色の花を咲かせています。秋の七草の一つであり、日本人には馴染み深い植物です。

## レンゲショウマ

(キンポウゲ科)

太平洋岸の山深い湿り気ある場所に自生する1属1種の多年草。絶滅危惧種に指定。薄紫色の上品な花です。残りのつぼみはあとわずか。

## イズモアザミ(仮称)

(キク科)

広島、島根、山口県の山野に自生する大型のアザミ。以前はヨシノアザミとされていました。アザミの仲間は、分類の見直しが進行中です。

## 変化咲きアサガオ

展示会(9月)よりも早く咲きだした鉢を展示しています。お楽しみください。

## ノリウツギと夏の植物展

花の少ないこの季節に咲くノリウツギの仲間を展示。ほかに見ごろの夏咲きの植物を展示しています。(屋外展示場 8/31まで)

## ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

## ツノゴマの仲間 (ツノゴマ科)

新大陸原産。淡紫色花のフラグランス種と黄色花のキバナツノゴマが咲いています。花のかわいさとは裏腹に、大きな鋭いトゲのある実が付き、「悪魔の爪」とも呼ばれます。

## アデニウム

(キョウチクトウ科)

アフリカ東部～アラビア半島原産。「砂漠のバラ」の名前で親しまれ、鮮やかな赤色花が咲いています。

## 世界の食虫植物展

(展示温室 8/28まで)

## キバナコスモスの迷路 (キク科)

メキシコ原産の一年草。オレンジ色、黄色の花が2,600本咲いています。品種はブライトライト。

## 大温室改修のため休館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

## アサザ (ミツガシワ科)

沼、ため池などに生育する浮葉性の多年生水草。黄色の花が咲いています。環境の変化により個体数が減少し、準絶滅危惧種に指定されています。

